

### Lesson

## かずにしたしむ（1）1～6

#### レッスンのねらい

- 6までの数を表す英語に触れ、親しむ。
- 数を英語で言ったり歌ったりするなどの活動を楽しく行う。

#### 使用単語

One, two, three, four, five, six, number

#### 会話表現

What number is it?  
It's (number).

#### 準備

フラッシュカード  
B-BLOCK（1つ山、2つ山、3つ山、4つ山）  
おかたづけボックス

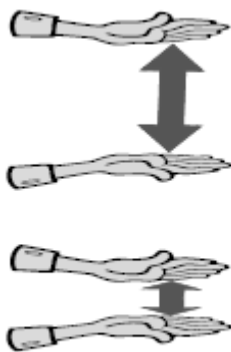
### Warm-Up

#### 挨拶

- ◆ 児童全員に挨拶をする。児童の中に入り、ランダムに児童に名前を聞き挨拶をする。  
ALT : Hello. What's your name?  
St : Hello, My name is (…).  
ALT : Hello, (name).

#### Voice Aerobics

- ◆ 手を広げたり、狭めたりして児童の声の大きさを調整しながら、楽しく発声させる。
1. ALT が両手で示す手と手の幅に合わせて児童が発声する。ALT は初めに見本を見せる。幅が狭い時は小さい声、広げていくと大きい声というように発声させる。



### Hop

#### 単語と表現の提示（1から6）

- ◆ フラッシュカードまたは B-BLOCK を使って1～6までの数字を順番に導入。一緒に繰り返して児童が言うのを促す。

### Step

#### チャンツ・会話

- ◆ フラッシュカード(1~6)を見ながらリズムカルに最初は順番通りに、慣れてきたら順序をバラバラにして数字の表現を使って言う。だんだんスピードアップして数字を言う。

#### メモリーゲーム

- ◆ すべてのブロックを児童の前に置く。ブロックの中から1つブロックを隠し、残ったブロックが何個か、“What number is it?” と尋ねる。同様に隠すブロックを変えて行う。

### Jump

#### 数字集めゲーム

準備: B-BLOCK (1つ山、2つ山、3つ山、4つ山)、おかたづけボックス

1. おかたづけボックスを組み立て、教室の真中に置く。ブロックはランダムに床にばらまく。
2. 児童を4つのチームに分ける(赤チーム、青チーム、黒チーム、白チーム)
3. ALT は見本を見せる。ALT が“One”と言い、1つ山ブロックを拾い、おかたづけボックスまで持っていき、ボックス内に入れる。さらに、“One”と言い、床に残っている1つ山ブロックをいくつか見つけ、おかたづけボックスに入れる。次に、“Two”と言い、2つ山ブロックを拾い、おかたづけボックスに入れる。同様に“Three”と“Four”の場合も行う(1から4までの数字を使ってゲームを行う)。
4. 最初にゲームを行う児童を各チームから選び、ゲームを始める。ALT は数字を言い、言われた数字のブロックを児童に拾ってもらい、おかたづけボックスに入れてもらう。
5. ALT が言った数字のブロックがなくなったら、カウントダウン(5カウント)を行い、ゲームを終了する。終了後、児童と一緒におかたづけボックスに入っているブロックの答え合わせを、“玉入れ”の要領で行う。“One”と言いながら1個ずつブロックを取り出し、上に放り投げる。2つ山や3つ山等の違うブロックが入っていた場合は、大げさに“No”と言いながら違う方向に投げる。
6. プレーヤーを変え、同様にゲームを行う。ゲームを見ている児童には、チームメートを応援するよう、励ます。

### Wind-Down

- ◆ ALT は児童の中に入り、児童を無作為に当て、フラッシュカードを見せて、“What number is it?”と聞く。

### Closing

- ◆ ALT は児童に挨拶する。“Good-bye. See you.”と言う。

#### 評価規準

大多数	半数	少数	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6までの数を表す英語を使っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	数を英語で言ったり歌ったりするなどの活動を楽しんでいる。